

九州SDGs 経営推進フォーラム 分科会活動 ピッチ会

～みんなに知って欲しい、
サステナブルな未来に向けたチャレンジ～
2022年9月5日



一般社団法人福岡県中小企業診断士協会 副会長
SDGs推進ネットワーク福岡 代表

中小企業診断士・行政書士 越川智幸

事業におけるSDGs・サステナビリティに10年以上

- * なぜSDGsが事業に必要なのか
- * どのようにSDGsを事業に活用すればよいのか
- * どうすれば環境・社会・統制の観点から企業価値を高められるか

著書「明快！中小企業のためのSDGs経営」



- * SDGsのことが、ようやくわかった
- * SDGs導入の機運が高まった
- * 納得感のあるアプローチ法で、スムーズに導入できた
- * 誰に相談すればよいかわからず悩んでいたが、親身に相談にのってくれてとても頼りになった

活動内容の紹介

講演

- ・九州経済産業局
- ・中小企業基盤整備機構
- ・中小企業大学校
- ・中小企業団体中央会
- ・商工会 商工会議所
- ・大学大学院、各種団体・企業等 計約50回

メディア

- ・ラジオ番組 SDGs解説
- ・書籍発行、専門誌

支援企業

- ・製造業、住宅関連業、不動産業、
IT開発業、ガス供給業、
宿泊業、飲食業、物品販売業、
サービス業 等



活動内容の紹介（支援事例）



SDGsに係る融資事例

■ NPO法人シンフォニーネット [山口県下関市]

家族目線で障がい者の支援を展開、
誰もが生き活きと暮らせる地域を

JFC 日本政策金融公庫

SDGsゴール



ハンディキャップを理解することで、 SDGsが目指す地域が見えてくる

地域には障がいのある方の働く場所がまだまだ少ない。これを変えていこうと自閉症の啓発デーのイベント、法人や学校での講演会などを通して、障がい者への理解を啓蒙する活動を展開しています。今では、中小企業の経営者が会場に足を運ぶといった機会も多くなりました。「経営者にとって、障がいのデコボコの仕組みを理解することは、組織全体を見つめ直すよい機会となっているようです。仕事ができる人・できない人、コミュニケーションが得意な人・不得意な人など、会社にはいろんなタイプの人があります。自分が相手に合わせる(もしくは相手が自分に合わせる)のではなく、お互いに認め合って、補い合えばいい。目線を下げることが、SDGsにつながるのでは」と、岸田さん。こうしたシンフォニーネットの取り組みが評価され、2021年2月には、(一社)福岡県中小企業診断士協会「SDGs推進ネットワーク福岡」よりSDGsの実践事業者として認定を受けました。

「中小企業SDGs経営」証明書

事業者名 NPO法人シンフォニーネット

当会は、標記事業者のSDGs経営について、集中的アプローチによるSDGs経営の導入支援を行い、中小企業の実情に即したSDGs経営が実践されていることを証明します。



令和3年2月

一般社団法人福岡県中小企業診断士協会
SDGs推進ネットワーク福岡 代表 越川 智幸

(一社)福岡県中小企業診断士協会「SDGs
推進ネットワーク福岡」より「中小企業
SDGs経営」証明書を授与



活動内容の紹介（支援事例）



1 以前は伐採されて放置していた竹を有効利用できないか考えたのが始まりでした。



2 伐採された竹は集荷されて、製紙原料専用の木材チップを製造する工場へ搬入します。



3 工場へ持ち込まれた竹は、チップに加工する為チョッパー機に投入されます。



4 工場で切削された竹チップ。空洞な竹は木材に比べて生産性は悪く、機械のナイフ交換も多く必要



5 竹チップから取り出した繊維が紙になり、残りがエネルギーに利用されます。



6 工場で作られたばかりの原紙。竹の繊維は広葉樹より長く針葉樹より短いため強くしなやかです。



を私たちがつくる理由

印刷会社である私たちは日々大量の紙を使用します。紙の多くは海外から輸入されるパルプを元に製造されています。そんな私たちだからこそ環境に良いことができないかと考えたどり着いた回答が、竹紙ストローです。

**国産竹の間伐材を100%使用した
環境にやさしいストロー誕生**

活動前と今の変化

- ✓ 私たちは、中小企業へのSDGs支援の先駆けとして、当フォーラム誕生の数年前からSDGs経営の推進活動をしています。しかしながらその当時は、SDGsの認知度が低い状況でしたが、地道に活動が続けてきました。
- ✓ 今は、SDGs経営に取り組みたい、先ずは一步を踏み出したい、という事業者様からのSDGsセミナー・SDGs経営支援のご依頼を多く受けています。

今後チャレンジしたいこと

✓将来世代との対話

- ・大学生、高校生へのセミナーを推進
（大学生・大学院生では実績あり）
（高校生は実績1回、予定あり）

✓地域社会との対話

- ・市民向けセミナーを推進

参加者へのメッセージ

私は、SDGsという言葉が誕生する前から10年以上、「事業と環境を将来へ繋ぐ」、環境や社会に配慮した事業活動を推進してきました。

「そのうちに、きっと誰かが、何かをやってくれるだろう。」ではなく、「まずは自分事として、自分で考えて行動する。」

私は、社会経済の基盤である中小企業がSDGsに取り組むことが大切と考え、当時はSDGsは大企業が取組むべきもの、と考えられていたところ、新たに「中小企業のためのSDGs経営」の概念を創出し、中小企業の皆さまへのSDGs普及・SDGs支援活動を開始しました。

SDGsは世界全体の目標です。SDGsを持続的に推進するためには、本質を理解した上で、「利他の心」で良い経営を行い、環境や社会に良い影響をもたらす仕組みが事業に組込まれることが必要です。

このSDGs経営の根幹となる姿勢は、まさに「そのうち誰かが」ではなく、「自分事として考え行動する」ことと思います。そして、ひとりでできることは限られていても、仲間と共に推進することが大切だと思います。中小企業経営者の皆さまは、SDGs経営を行うことで、お客様、得意先、仕入先、従業員との絆を実感されると思います。

福岡県中小企業診断士協会SDGs推進ネットワーク福岡 代表

中小企業診断士・行政書士 越川智幸

その他

SDGs経営導入支援やSDGs社内研修について

〔お問合せ先〕

一般社団法人福岡県中小企業診断士協会

SDGs推進ネットワーク福岡

福岡市博多区博多駅東2丁目9-25-203号



092-710-7781

sdgsnetworkf@gmail.com

<https://sdgsnwf.business.site/>

